

かんきょう 環境問題へのアクション

季節：通年 時間：3時間

開発と保全をめぐるさまざまな対立に対する自分の考えを述べよう。

環境問題に関わるための情報を集めよう。

進め方 開発と環境保全をめぐる問題について調べよう

1. 身近なところや島根県内での開発と環境保全に対する問題を調べてみよう。
2. わが国の代表的な開発と環境保全に対する問題を調べてみよう。
3. 開発と環境保全に対する問題を考えるときの視点を話し合おう。

資料

資料1 宍道湖・中海の淡水化・干拓問題

年	できごと
1954	県が中海・宍道湖の干拓淡水化計画を発表
1963	中海の干拓事業が始まる
1984	水質悪化の心配から、淡水化反対運動が始まる
1988	農林水産省が淡水化事業の延期を決定 / 住民グループが景観保全条例を請求
1992	農林水産省と県が本庄工区干拓事業の延期を決定 / 干拓後の水質に関する調査が始まる
1996	中海沿岸の住民が干拓中止を求める署名を提出する
1999	県知事が干拓事業の見直しを発表する
2000	農林水産省が干拓事業の中止を決定
2001	国・島根・鳥取両県が「中海に関する協議会」を設置し、水質などの環境改善等の課題について協議を始める
2002	農林水産省が淡水化中止を決定する
2003	県知事が宍道湖・中海のラムサール条約登録をめざすとの意向を表明する

(山陰中央新報 H12.9.8)



進め方 環境を守るための活動について調べよう

1. 身近なところでの環境保護への取り組みを調べよう。
例：地域（公民館・自治会）、企業、個人（ボランティア団体）、学校など
2. 国内や世界で活躍する環境保護団体（NPO）とその活動を調べよう。
3. 身近で行われている環境活動に参加してみよう。

資料

資料2 特定非営利活動法人（NPO）の取り組み

「斐伊川くらぶ」の事業内容

尾原ダム・交流の里作り

斐伊川の上流（雲南市・仁多町）には、下流域の水確保と洪水調整のため、尾原ダムの建設が予定されています。111戸が移転したこの地を上下流交流の拠点とし、多彩な交流活動を行っています。

- ・体験交流...そば打ち・野菜作り・天ぷら会・ササ巻き作り
- ・花作り...菜の花

菜の花プロジェクト

『斐伊川流域の休耕田に遺伝子組換えのないナタネを植えて、景観作りと農地の有効活用をはかる』、『取れた種から安全な地元産の食用油を作って食べる』、『廃油は集めてBDF燃料としてリサイクルする』。という循環型のプロジェクト。地元農業者、地元製油業者、地元研究者、自治体、斐伊川くらぶが連携して、ナタネの栽培や、学習会などに取り組んでいます。

（ BDF：生物起源のディーゼル燃料）

宍道湖ヨシ再生プロジェクト

貴重な地域資源である宍道湖の水質



浄化と健全な水生動植物の生態系を取り戻すため、産・官・学・民が協働して「竹ポットによるヨシの植栽」活動を広域的かつ長期的に行い、宍道湖が有する豊かな恵みを取り戻します。特に次世代を担う小学生を中心に活動を行っています。



森林環境体験活動

上流での森林荒廃の現状を知るとともに国土の環境保全のために活動できる人を養成し、ボランティアの機会を提供するとともに、上流域でがんばっている人々との顔の見える連携を進めていきます。



どんぐりの森づくり事業

尾原ダム建設によって削られる山肌の緑を復元するため、上下流域の小学生が集めたどんぐりとどんぐり竹ポットに種まきして、流域の山々に植林を行うなど、緑の大切さを実感できる環境教育の場として活動を行っています。

その他

- ・資料作成...「斐伊川流域の炭と炭焼き」
「流域連携～尾原ダムから～」
「よしおとよしこの宍道湖一周大作戦」
- ・ピオトープづくり支援

(NPO法人斐伊川くらぶ資料より作成)

コラム NPO

Non Profit Organizationの頭文字をとったもので「非営利組織」のことをさしています。広い意味では自治会や労働組合なども含まれますが、一般的には市民活動団体やボランティア団体または特定非営利活動促進法(NPO法)により認証された特定非営利活動法人(NPO法人)などをさすことが多いようです。また、国内で活動する民間のこうした団体をNPOというのに対して、海外で活動している団体をNGO(Non Government Organization = 非政府組織)と呼び分けることが一般的です。

資料

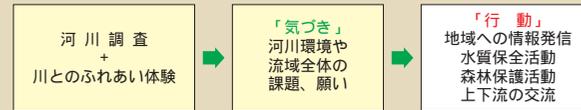
資料3 「神戸川流域環境マップづくり」の取り組み

「神戸川流域環境マップづくり」の概要

主催：神戸川流域環境学習推進協議会
主幹：神戸川流域圏小中学校(33校)
主催：島根県中山間地域研究センター

*(財)河川環境管理財団 河川整備基金助成事業

ふるさとを愛する人づくり・「生きる力」の育成



活動内容(神戸川流域環境マップができるまで)

各学校付近で実際に川に入って、指標生物やゴミ、水質などを調査

指標生物を分析し、種類・数から水質判定

各学校から調査地点ごとに調査結果をWeb-GISに入力

流域全体の環境マップが完成

島根県中山間地域研究センターHP <http://www.chusankan.jp/>で公開

その他、源流や河口への見学ツアーやゴミ拾いなどの活動を実施

これまでの活動

	H14		H15		H16		のべ
	秋	春	秋	春	秋		
参加学校数(校)	29	18	28	24	13	-	
参加者数(人)	1108	985	1135	810	396	4434	
調査地点数(カ所)	54	34	58	49	24	219	

H16年度の流れ

5月29日 第1回指導者研修会(先生対象の研修会)

6月1日～6月30日 春の調査期間(統一調査日:6月9日)

6月 子どもたち・教員向けのアンケートを実施

8月7日 水環境フェアin新潟での発表(来島小の3人が発表)

8月23日 第2回指導者研修会

9月1日～9月30日 秋の調査期間(統一調査日:9月9日) 台風相次ぐ

10月27日 河川整備基金助成事業成果発表会で発表

1月 速報版報告書を発送、アンケートを実施

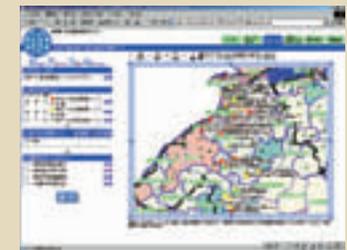
2月19日 担当者会議、成果発表会

協力機関

国土交通省出雲河川事務所

斐伊川・神戸川総合開発工事事務所 他

Web-GISによる出力結果



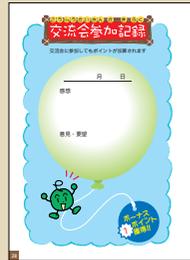
(神戸川流域環境学習推進協議会資料より作成)

資料4 「しまね子どもエコクラブ」の取り組み

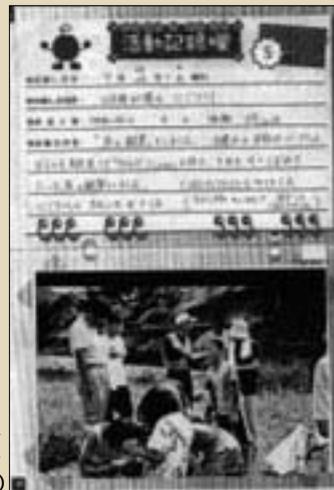


子どもエコクラブは、小中学生ならだれでも参加できる、全国的な環境活動のクラブです。全国で約7万5千人（平成13年度）の小中学生が参加しています。

「豊かな環境を守り、はぐくみ、持続的に発展する島根をめざして」この言葉は、平成11年2月に策定した「島根県環境基本計画」の推進にあたり自治体、事業者及び県民が一体となって取り組むための共通コンセプトとして設定したテーマです。本テーマの実現に向けて重要な役割を担う子どもエコクラブ活動の活性化を願い「しまね子どもエコクラブ認定制度」を平成14年度よりスタートさせました。現在約50団体が登録し活動を行っています。（<http://www.pref.shimane.jp/section/kankyo/ecoclub/index.html>）グループの種類には、近所の友達、家族・親族、ボーイ・ガールスカウト子ども会、児童館や公民館のグループ、自治体の募集、学校などさまざまな形態があり、メンバー数もいろいろです。



はたがちゅう
畑ヶ中2子ども会エコクラブ
(大田市久利町久利：子ども会)



ポレポレキッズ 矢上
（しまね子どもエコクラブ 資料より作成）
（邑智郡邑南町矢上公民館）

資料5 企業・会社の取り組み

県内の企業・会社の環境への取り組みも年々高まり、積極的にISO14001の認証取得を行うところが増えてきています。現在、68企業・6自治体が認証を受けています。それらの企業・会社では、しっかりした環境方針（目標）を立て、具体的な行動目標と計画に基づいていろいろなところで環境への配慮に取り組んでいます。その中の一例を紹介します。

- エネルギー（電力）の消費量削減
- 排出物に関する改善（発生源抑制、排出量削減、再資源化、適正管理）
- 製品の開発、設計段階における環境への配慮
- グリーン購入の推進
- 環境教育・社内広報活動などを通じて、全従業員の環境保全意識の向上
- 環境保全への取り組みや環境データの一般開示
- 地域の環境美化活動など地域に開かれ地域とともに歩む活動の推進
- 一般の方や学校などを対象とする見学会や環境教育教室の実施、インターンシップ等の受け入れ
- エコカーの積極的な導入

松江市内の民間企業の取り組み



月2回朝8時前から30分ばかり、事務職員を対象に行っています。大橋川周辺だけでなく、地域の公民館周辺も行っています。



会社を飾る花づくりを始め、「しまね花と緑のまちづくり大賞」にも応募しました。



高校生の工場見学。小学生から一般まで多くの人々に見学して頂いています。



小学生対象の環境教育「ごみの行方」です。「パソコン分解」教室も開催しています。

資料6 環境を考えるための情報入手先

環境省HP (<http://www.env.go.jp/>) や下の「こどものページ」が役立ちます。そのリンク集には、いろいろなHPが紹介されています。

環境をテーマにしたHPを見つけるためのリンク集を紹介します。

EICネット (<http://www.eic.or.jp/>)
環境goo (<http://eco.goo.ne.jp/>)
環境問題の部屋 (<http://digarc.pd.saga-u.ac.jp/sin-kyozai/kankyou/>)
Eco Link (<http://www.eco-link.org/>)
エコロジーシンフォニー (<http://www.ecology.or.jp/link.html>)
まちづくりアドレスブック
(<http://www.gakugei-pub.jp/link/index.htm>)

さらには、次のようなHP集もあります。

地球環境全般

ぼくら地球調査隊 (<http://www.jica.go.jp/kids/pages/>)
ガイアプレス (<http://global.horiba.com/gaiapress/>)
イオルキッズ (<http://eco-online.org/kids/>)
国立環境研究所KIDSページ (<http://www.nies.go.jp/nieskids/>)
(財)日本環境協会HP (<http://www.jeas.or.jp/>)
地球環境パートナーシッププラザHP (<http://www.geic.or.jp/geic/>)

自然・動物

WWFジャパン (<http://www.wwf.or.jp/>)
インターネット自然研究所 (<http://www.sizenken.biodic.go.jp/>)

暮らし・エネルギー

スマートライフねっと (http://www.eccj.or.jp/sub_04.html)
ひまわりさんちのエコロジーライフ
(<http://www.ohn.co.jp/ecolife/index.asp>)
経済産業省Kid's Page (<http://www.meti.go.jp/intro/kids/>)

私たち島根県の環境に関しては、次のHPを見てみよう。

島根県環境政策課HP (<http://www.pref.shimane.jp/section/kankyo/>)
島根ふれあい環境財団21 (<http://www2.pref.shimane.jp/furekan/>)
島根県立宍道湖自然館ゴビウス
(<http://www2.pref.shimane.jp/gobius/>)
島根県立三瓶自然館サヒメル (<http://www2.pref.shimane.jp/sanbe/>)
島根県立しまね海洋館アクアス (<http://www.aquas.or.jp/>)

ワーク

1 開発と環境保全をめぐる問題を考えよう

作業1 身近なところや島根県内での開発と環境保全に対する問題を調べよう。

作業2 わが国の代表的な開発と環境保全に対する問題を調べよう。

年	組	番	氏名	
---	---	---	----	--

作業3 道路やダム、飛行場、発電所などをつくろうとすると、工事を始める前にみんなで話し合いながら、よく調べて、考えて、より環境にやさしい計画にしていくことを「環境アセスメント」という。自分たちのまちに巨大施設や学校・病院などを建設したら、どのように「環境アセスメント」を行っていけばいいのだろうか。

(<http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/kodomo/h16/31.html>を参照)

建設物

建設予定地

経済や生活面での利点

環境への問題点

修正計画

ワーク

2 環境活動へ参加しよう

作業1 身近なところでの環境保護への取り組みを調べよう。

例：地域（公民館・自治会）、企業、個人（ボランティア団体）、学校など

--

作業2 国内や世界で活躍する環境保護団体（NPO）とその活動を調べよう。

--

年	組	番	氏名	
---	---	---	----	--

作業3 環境に関わるイベントや活動に参加し、その感想を残そう。

参加したイベントや活動（月日）

感じたこと・考えたこと

--

作業4 環境問題を学習して、これからの社会や地球について、自分の意見・願いを書こう。

--